NO．１９　焼き板

１　ねらい

・自然の材料を使って作品を作ることを通して，創作する喜びを味わう。

２　活動の計画

（１）活動期間	４月～１１月	
（２）所要時間	・焼く工程まで：２時間 ・絵付けまで：３～４時間	
（３）活動場所	・外かまど，野外炊事場Ａ棟，野外炊事場Ｂ棟 ※野外炊事を行っていない場合や雨天時に炊事棟かまどを使用できます。	
（４）準備物	〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
	・火ばさみ　・金ブラシ ・筆　・パレット ・杉板：有料（様式７参照） ・薪：有料（様式７参照）	・軍手　・雑巾 ・新聞紙(薪点火用，作品包装及び絵付け用) ・点火用具(ライター等) ・絵付け用絵の具

３　活動について

（１）グループ編成

・小学校１年生以上が適切です。家族でもできます。
・１グループ１０人以下の編成が望ましいです。（１グループに薪１束）

（２）活動支援

・薪割りを活動の中で児童が行うか，引率指導者が行うかについて，事前にご検討ください。希望があれば準備中に職員が引率者に薪割りの説明をします。事前にお知らせください。
・当日，活動前に当館指導員から全体へ次の①～⑤の説明があります。
①安全上の注意点　②活動場所　③貸出物品　④焼き板の作り方　⑤片付け

（３）焼き板作成のポイント　※別紙「焼き板を焼こう！」も参考にしてください

・杉板を焼く際は，表面全体をまんべんなく焼きます。焼いている間は目を離さないでください。
・焼きすぎると薄くなって割れやすくなったり，燃え尽きて灰になったりすることもあるので注意してください。
・火ばさみで挟んでいる部分が焼けないので適宜持ち替え，板の切口の部分も焼きます。
・まんべんなく焼けたら，砂利の上でこすって火を消し，表面を粗く整えます。
・金ブラシを使う際は火ばさみでしっかり押さえ，すすが出なくなるまで木目に沿ってこすります。

（４）片付け

・活動の準備及び活動後の後片付けは，各団体が責任をもって行ってください。

※板を焼き終わっても燃え尽きない薪がある場合にはそのまま燃え尽きさせてください。活動の最後に灰をペール缶にまとめて，ふたをしてください。

※かまどには絶対に水をかけないでください。

・野外炊事棟利用の場合は，活動後に炊事場シンクの水拭きをしてください。

4　展開例

区　分	内　容
準備・説明 (20 分)	（１）活動のねらいや道具の使用法等について説明を受けます （２）野外炊事棟Ａ薪倉庫前から材料や道具を受け取ります
活動 (70 分)	（１）薪割りをします （２）かまどに火をおこします （３）杉板を焼きます （４）金ブラシでこすり，焼けこげを取ります （５）乾いた雑巾でこすり，つやを出します ・活動後，焼き板に絵付け等をする場合は，多目的ホールで行います
まとめ・片付け (30 分)	（１）後片付けをして，道具を元の場所に戻します ・作品は個々に新聞紙等に包み，必ず名前を書きます ・雑巾や新聞紙は持ち帰ります （２）作品発表会と感想発表，反省をします （３）講評をします

5　活動上の留意点

・火を使うため，火傷をしないように服装や身支度に留意してください。

・杉板は火ばさみで挟んで焼き，手では持ちません。

写真１　焼き板活動の様子①

写真２　焼き板活動の様子②

写真３　杉板の焼き工程

NO.19　焼き板
（2022年3月更新）

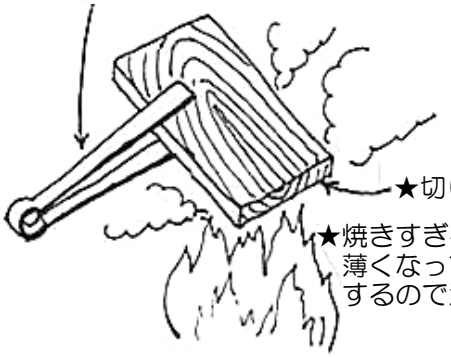
オーエンス泉岳自然ふれあい館

焼き板を焼こう！

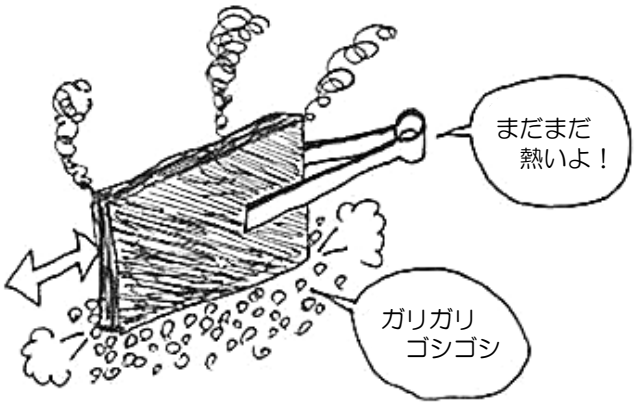
やけどに注意！

①材料は杉板の他に丸太の輪切り、
木片、火切り板なども使える。
焼いた後の用途によって選ぶ。

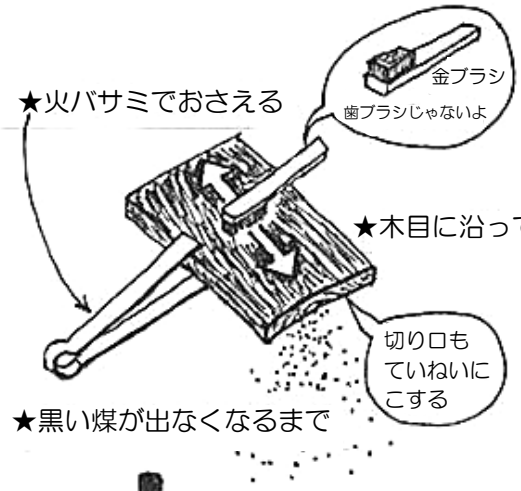
②表面全体を焼く。



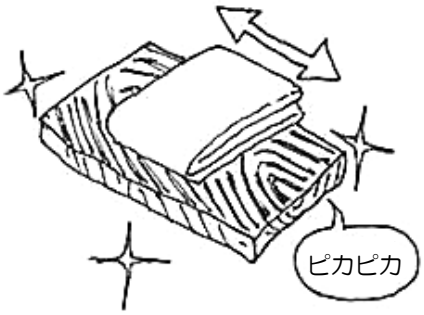
③砂利の上でこすって火を消し、
表面を粗く整える。



④火が完全に消えたら、金ブラシで
まんべんなくこすり、焼け焦げを取る。

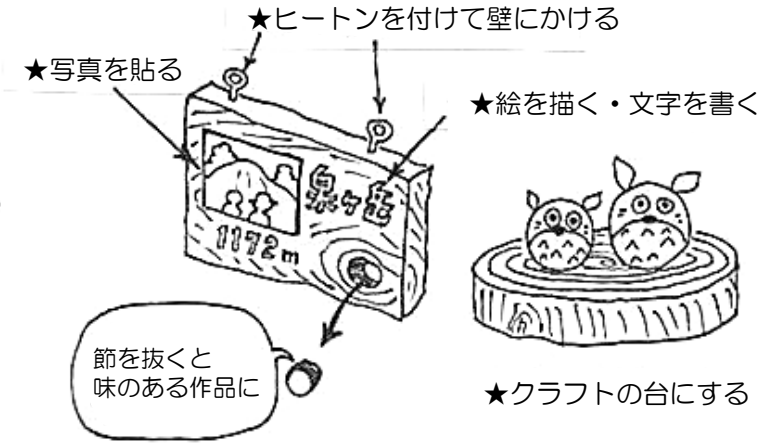


⑤布でこする。



★表面に光沢が出て
絵も描きやすくなる

⑥完成したら作品に仕上げる。



★クラフトの台にする